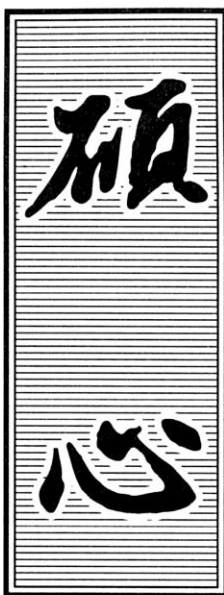


# 碩心会創立75周年記念特集号



題字は松井岳洋筆

## 創立75周年記念吟詠大会 盛會裡に終わる

会長 内山岳青

去る5月27日、鎌倉芸術館に於いて600名の定員満席の中で開催された大会は盛會裡に終わる事ができました。ご来場頂いたご来賓やご家族の方々からは「プログラムの構成内容や大会の運営を見て碩心会の歴史の重さと底力を感じた」「初めて詩吟大会に来たが最後まで少しも飽きず楽しかった」等々誠に過分なお褒めの言葉を頂きました。この大会に向けて吟や舞の練習を重ねて来られた会員、映像制作のため工夫と知識を結集し奮闘された方、大会当日は緑の下の力に徹して頂いた大会役員等、多くの方のご苦勞を思うと、私には来場者のお褒めの言葉は素直に嬉し

く、誇らしく受けとめております。

日本詩吟学院の認可団体は全国で206会ありますが、その中でも75年を越える歴史を有する会は一、二しかありません。

多くの碩心会先人のご苦勞と詩吟を愛する情熱があつたればこそその75年大会であることを思うと、改めて先輩への敬意と感謝の氣持を強くいたします。

先日行いました大会役員による反省会では大会が終わりホツとしたい時にもかかわらず担当役員毎に討議された反省点・改善点が数多く出されました。その貴重な意見は記録として整理され、会の財産として生かされていきます。こう云う地道な積み重ねこそが歴史ある会の力の源泉であり、次世代にバトンをつなぐ上で欠かせないことだと思えます。

75大会に対する皆様のお骨折りとご協力に對しまして改めて厚く御礼申し上げます。

これを契機に詩吟の良さをより多くの人に広め、心新たに碩心会の充実・発展のために取り組もうではありませんか。

No. 413  
平成24年1月

発行  
社日本詩吟学院岳風会 認可  
**碩心会**  
発行者 内山岳青  
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28  
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

## 総本部より感謝状授与さる

総本部より吟道普及に對する感謝状が当会に授与され、式典にて木部岳圭理事長より、内山会長が代表して頂きました。

## 感謝状贈呈

内山会長より加藤顧問に当会の發展に尽力された事に対し感謝状が贈られました。

## 表彰状贈呈者

### 在会三十年表彰者

高橋岳之・伊藤岳光・加藤岳美・小菅岳倅  
森 岳靚・菊池岳悠・鈴木岳倅・松川岳好  
水上岳昌・星野岳輝・西岡岳清・広瀬岳唐  
青木岳紅・大坪岳久・佐藤岳由・嶋津岳幸  
知久岳萌・池田岳清・加藤健岳・西山蓉岳  
市原儀岳・野口紀岳

### 在会二十五年表彰者

小野岳祥・市川岳穂・根岸岳啓・齋藤岳和  
鈴木岳賢・角田岳久・小金岳智・中山岳香  
森 岳暎・村上岳雍・大前岳千・石井虹岳  
海津祥岳・福本香岳・沼田東岳・田中景岳  
葉山壽岳・中村豊岳

盛大に挙行された

# 創立75周年記念吟詠大会



頌心会  
内山会長挨拶



総本部 木部理事長祝辞



オープニング「さんさ祝い唄」



「空手道」  
聖空会少年拳士

記念大会を終えて

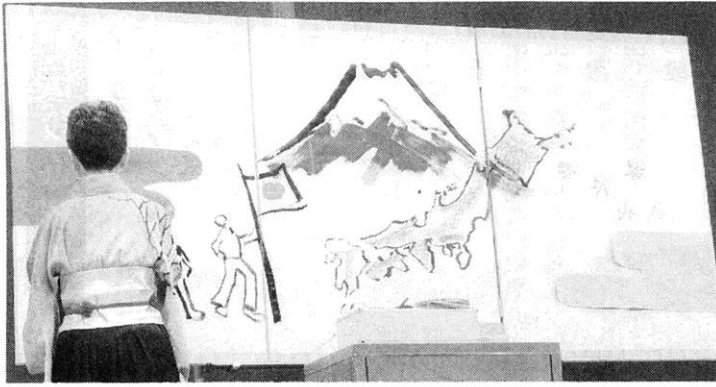
滝の坂 森 晶山

75周年記念大会の役員会が招集されたとき、私は大会の終わりを想像することができなかった。未経験であったし、温習会などの内部の会を運営するのは格段に違う、確かな組織としての力量を試されると感じたからである。

私は記録係だったので、幸せなことに会場の最前列で舞台の始どを見、聞く事ができた。

日本縦断の会員吟詠は、会員の吟に対する真摯な姿勢と共に、改めてふるさとの美しさや思いを呼び起こされた。

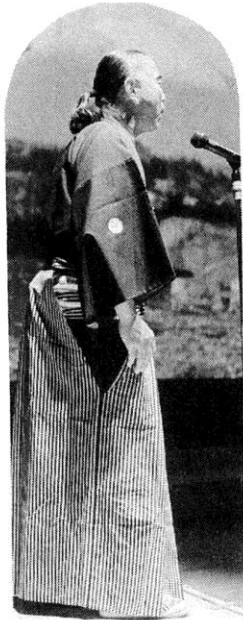
小学校で習った「雨二毛負ケズ」から始まった構成吟。手帳に無造作に書かれた賢治の字と伸びやかで力のある吟が重なる。詩吟を通して「共に生きる」とこのあり方を再認識させられた。空手・書道・舞・絵画等他の分野との共演には、心に染み込むような一体感があった。改め



「日本を愛す」 画道吟 村田佳代子先生



「奥のほそ道より」  
書道吟 伊藤月仙先生



「岩手富士」  
実行委員長

上村副会長



「名槍日本書」  
村田岳瀨先生 94才



フィナーレ「上を向いて歩こう」

て日本の文化、私たちが育ってきた風土を意識し、詩吟をより深く理解する助けになったような気がする。吟の練習で師匠は「吟じたい思いを表すように吟じることが大切だ」とおっしゃる。私などのレベルの話ではないが、来賓吟詠を聞いていてその一端に触れたように思えた。声も吟じ方も多様な、訴えてくるもの迫ってくるものが違う、来賓の先生方の吟が続いた。

計画通りに大会は終わった。最後まで会場に多くの方がいてくださった。係りによつては「一度も舞台を見られなかった」「腰を下ろす暇もなかった」など多くのご苦労があったと聞く。でもそれら乗り越えた。自分たちで75周年をやり切るうとした会員各係りの強い思いが生み出した力である。

80周年に向けて新しい一歩が始まる。



**昇伝段位認許**

(平成24年4月1日付)

少年 3名

201 広瀬直樹少三段 222 吉田朋之進少九級

227 島袋泰成少十級

初段 5名

229 伊藤洋子 230 小俣信子 231 山口歎三

232 長谷川嘉宏 233 郷原美貴子

二段

209 泉谷鐵雄 215 馬場香澄 218 吉田志穂

219 加藤 勇 221 田嶋正子 228 亀井洋子

初伝

207 山中郁泉 208 有田暢泉 211 松井淳泉

212 吉田新泉 214 白石雅泉 216 常磐仙泉

三段

199 井戸田喜泉

四段

183 知念義泉 190 野村耀泉 191 畠山竹泉

192 小川美泉 194 古敷谷江泉

中伝

180 加藤茗山 181 永田静山 182 村田謙山

五段

174 斉藤悠山

六段

163 鈴木康山 164 山崎勝山

奥伝

147 岡田麗風 148 山下信風 151 藤崎洋風

七段

137 坂上葉風 138 鮎澤紀風

八段

125 伊藤泰風 126 湯浅杏風

**春季審査会を終えて**

真澄支部 小暮 洋風  
去る3月18日、私は皆伝の審査を受けました。審査会が開始されると落着いている積りがいざ出番になると言葉間違い、絶句もありましたが何とか無事終えました。

今日迄14年という月日が経過、長く続いた趣味に我ながら感心、現在があるのは詩吟の節調が好きなのと、楽器なしでどこでも出来ることも気に入っています。これからも先輩の方々の個性ある吟詠を見習い、吟技の向上に努力し雅号に恥じないよう頑張ります。

**悠吟支部よりお知らせ**

本年5月より夜の教場が閉鎖され、昼のみとなりました。

日時 金曜日 午後2時より4時まで  
場所 逗子銀座コミュニティセンター

悠吟支部 千葉 岳 関

**会員のうごき**

\*入会 (4月1日付)

- 235 かなざわまさひろ 金澤正宏 (篁風)  
藤沢市辻堂新町2-15-25  
☎ 0466-33-2813 紹介者 吉田信次
- 236 つうろともこ 津呂知子 (渚)  
鎌倉市十二所958  
☎ 0467-25-2128 紹介者 新田香山
- 237 ほんだ 本田ミイ (幸和) [6月1日付]  
横浜市西区浅間町1-4-13  
☎ 045-311-4337

\*退会

- 33 行谷岳成(滝の坂) 34 加藤岳溪(滝の坂)
- 50 大作愛岳(吟秀) 54 守谷岳信(一色)
- 73 風間房岳(吟秀) 81 守屋悦岳(真名瀬)
- 116 中尾松岳(長柄) 132 野口一風(滝の坂)
- 133 野口聖風(滝の坂) 136 種田麗風(滝の坂)
- 138 鮎澤紀風(滝の坂) 139 鮎澤紅風(滝の坂)
- 156 大池信山(滝の坂) 195 目黒花泉(真名瀬)
- 198 高山和泉(渚) 223 石川響岳(滝の坂)

**編集後記**

本号は傾心会創立75周年記念特集号と致しました。当日は多数の一般の方にもいらして頂き、詩吟の素晴らしさに触れて頂けた事と思えます。全会員一致協力し、有意義な一日となりました。この大会が未来への発展に繋がってゆくことを信じています。

広報部

24年6月1日現在	会 員 数
葉 山 地 区	9 8 名
逗 子 ・ 大 船 地 区	9 7 名
合 計	1 9 5 名